

製品名: MED11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13769**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	12kDa

抗原情報

遺伝子名	MED11 HSPC296
別名	
遺伝子 ID	400569.0
SwissProt ID	Q9P086
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 30-110

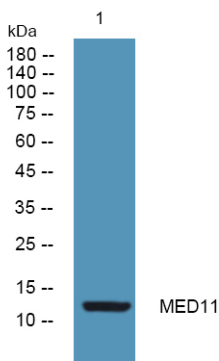
背景

MED11 は、RNA ポリメラーゼ II を介して転写を活性化する DNA 結合因子のコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素です (Sato et al., 2003 [PubMed 12584197])。[OMIM 提供、2008 年 10 月]機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺

伝子の転写制御に関与するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素です。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基本的な転写機構へ情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。類似性:メディエーター複合体サブユニット 11 ファミリーに属します。サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 で構成されています。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。

研究分野

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MED11 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩